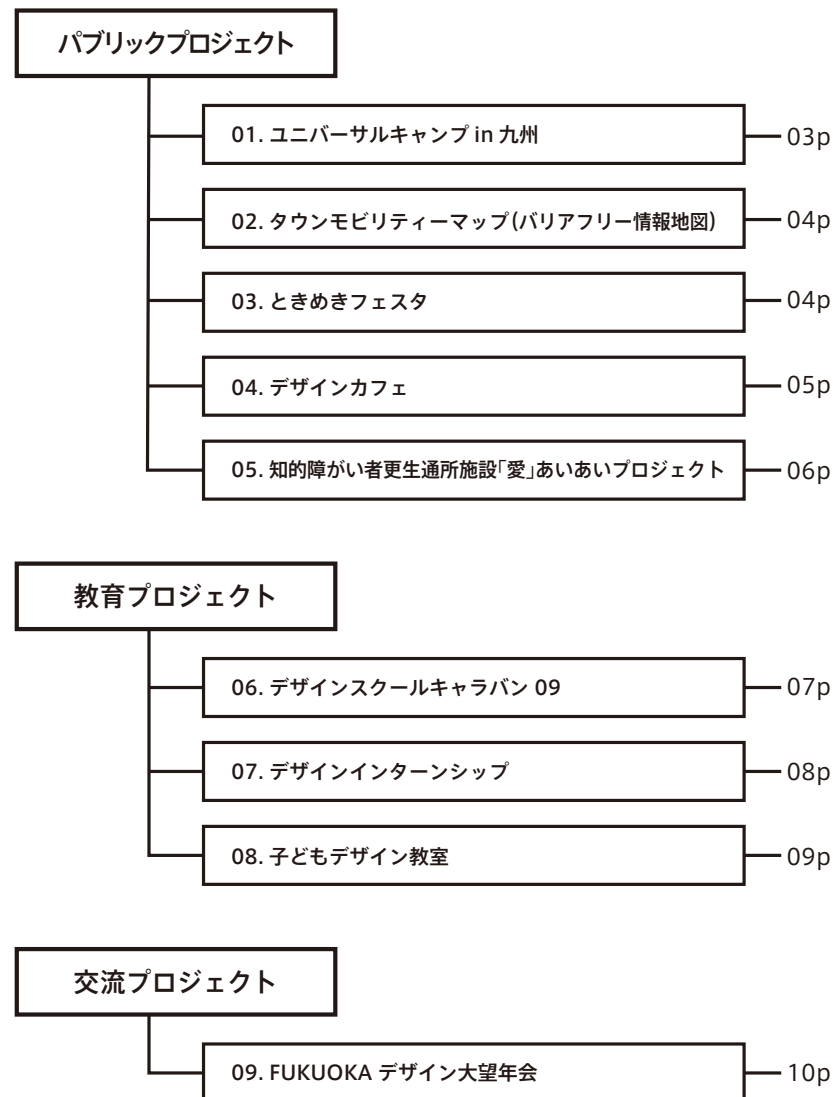
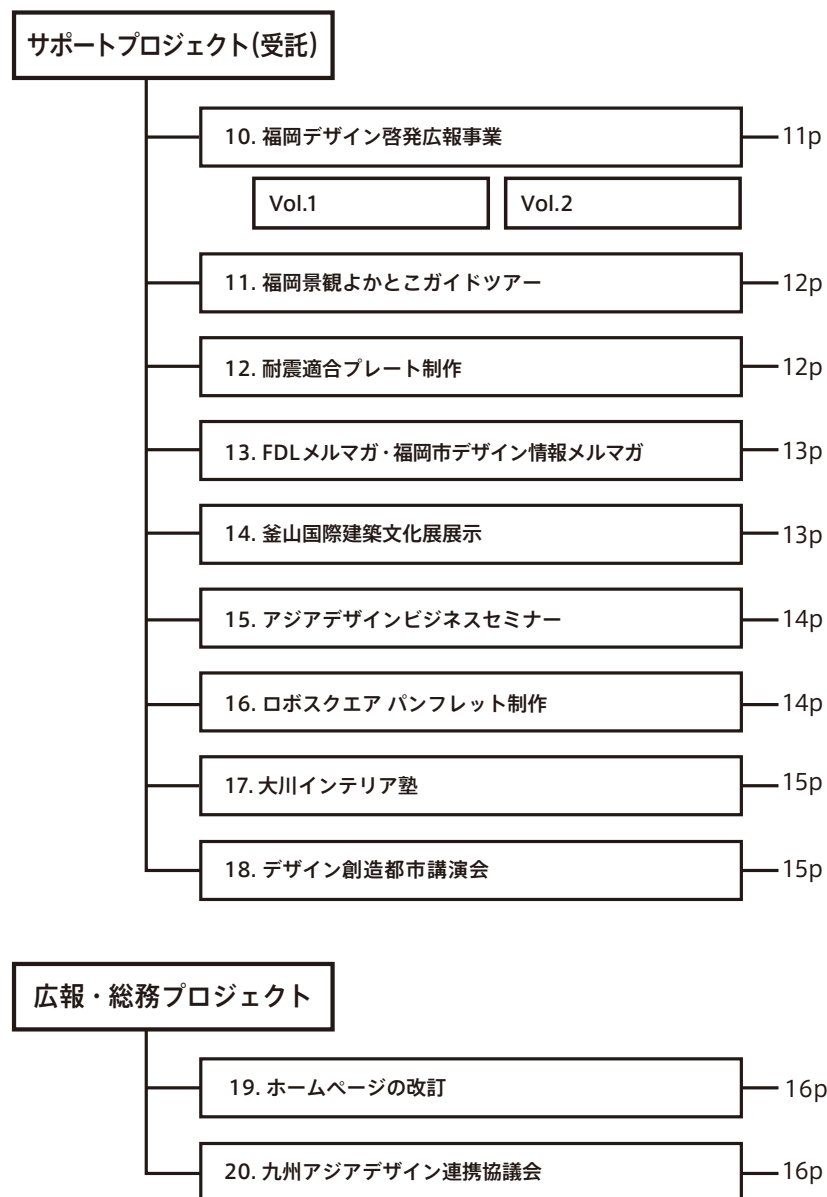


NPO FUKUOKA DESIGN LEAGUE

FDL

ACTIVITIES REPORT 2009

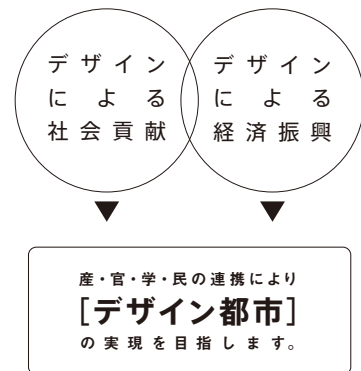


NPO FUKUOKA デザインリーグとは

FUKUOKAデザインリーグは福岡市のデザインセンター構想をベースに、1996年に任意団体として発足しました。その後福岡市経済産業局内に事務局をおき、「デザインによる経済振興」を主な目的としてさまざまな活動が続けてきましたが、「デザインを経済のためだけでなく、社会の成熟のために活用する」という大きな使命のもと、2008年に特定非営利活動法人として再スタートしました。

世界はいま環境問題やエネルギー問題など、さまざまな課題を抱えています。そして20世紀初頭にバウハウスでスタートした近代デザインは、「美の提供」から「問題の解決」へと、その能力を大きく進化させてきました。デザインはいまこそその力を企業や経済のためだけでなく、社会のため、市民のために活用しなければなりません。FUKUOKAデザインリーグでは、一人のデザイナーでは対応できない社会の大きな課題に対して、あらゆるデザイン領域を統合したトータルな力で、「市民が豊かに暮らせる社会（デザイン都市）」の実現を目指します。

NPO・FUKUOKAデザインリーグの活動目的



[デザイン都市]=市民が豊かに暮らせる社会



01

ユニバーサルキャンプ in 九州

09.26→09.27

活動DATA
開催会場…
国営海の中道海浜公園（デイ
キャンプ場）

「ユニバーサルキャンプ in 九州」は、ダイバシティー（Diversity≒多様性）の視点にたち、「みんなが一緒に活き活きと暮らせる社会」「多様性を受け入れる社会」を体感するために1泊2日の野外活動プログラム企画です。

とりわけ、多様性、異文化を理解する（受け入れる）ために「双方向コミュニケーション（受け入れる）不可欠として、さまざまな方法（会話・手話・口話・筆談・指文字・手書き文字・ジェスチャー等々）で意思の疎通を図り、「誰もが」（「自分」にできる範囲で）簡単に「楽しみながら」参加・体験できる、ユニークなプログラムを展開しました。

【1日目】

- 開村式
 - マイ箸・コップづくり
 - 昼食をつくろう
 - ダイバシティー・コミュニケーション
 - キャンドルづくり&BBQ
 - キャンドルナイト・コンサート&夜会（夜のダイバシティー）
- ### 【2日目】
- 朝食をつくろう
 - 自由時間
 - 昼食をつくろう
 - 閉村式

ユニバーサルキャンププロジェクトリーダー／椋本敏行
レポート／梅本幸治



04

デザインカフェ

社会が抱える様々な問題や福岡の隠れた歴史、景観の魅力、またデザインなどについて研究者や実践者をお招きし、単なる発表の場ではなく参加者も発言する議論の場「デザイン・カフェ」を実施しました。プロを入れる旨いコーヒーを飲みながら興味深いテーマで2回実施。次年度以降も継続予定です。

第1回 高橋孝三(九州大学 大学院理学研究院地球惑星科学部院 教授)

テーマ「地球温暖化の今、氷河期・間氷期周期から学ぶ」

第2回 Onny Kikhaug(ノルウェーデザイン協議会)

テーマ「成熟社会のデザインとビジネス」

デザインカフェプロジェクトリーダー／長峰 栄子
レポート／照井 善明

02.08
03.29

活動DATA
開催会場…
九州大学大橋サテライト

02

タウンモビリティマップ (バリアフリー情報地図)

過去に作成したタウンモビリティマップ(バリアフリー情報地図)の改訂のために、各エリアを調査して廻り、修正情報をもとにマップの改訂を行いました。

レポート／プロジェクトリーダー
水野宏



10.18

活動DATA
開催会場…
天神、中洲・川端、博多

03

ときめきフェスタ

ユニバーサルキャンプの記録パネル展示とビデオ放映、タウンモビリティマップの掲示と配布を行いました。

レポート／プロジェクトリーダー
水野宏



10.18

活動DATA
開催会場…
福岡市役所前イベント広場

05

知的障がい者更生通所施設「愛」 あいあいプロジェクト

毎週金曜日
AM/10:15～11:30

活動DATA
開催会場…
知的障がい者通所更生施設「愛」
講師…
サポーターズクラブ（現在毎回参加約3名、他3名）

●あいあいファーム

FDLが商品開発のデザインをお手伝いした、「あいうこん」は順調に生産が進んでおり、今年度は昨年度をさらに上回る販売目標を設定し、拡販に向けて進行中です。

昨年の発足時に提案があった、飲食店への小分けパック生産にも着手し、さまざまなアイデア（ブックマッチ、袋をカラフルにする、など）を施設の職員さんたちが出しながら、生産へ向けて奮闘中です。

福岡市の障がい者施設商品コンクール」ときめきセレクトション」の食品部門に選ばれるなど、認知も上昇してきています。

●あいあいエキスプリモ

昨年8月に活動を始め、1年が経過しました。活動メンバーは当初と変わらないまま、約20～25名が参加しています。

毎時間テーマを決めて自由な自己表現を楽しんでもらいながら、こころの安定や情操教育、スキルアップにもつながってきており、各メンバーの表現の上達は目を見張るものがあります。

昨年に続き、福岡市主催の「福岡コアサイドアート美術展」に出品、今年はメンバー全員が1点作品を出品しました。（審査、展示は11・30～12・5、福岡市美術館）

作品のマーケットイン活動状況

1、メーカーとのコラボレーションにより3種類の洗剤パッケージを制作、今年の福岡県産業デザイン賞に応募、1次審査を通過し、2次審査のため展示されることとなりました。

2、教育関係企業の定期刊行物パンフレットの表紙イラストに使用

3、JR東日本の鉄道ブームを受けたアンテナショップのグッズへの展開、その他障がい者施設商品およびアートグッズのセレクトショップ（ときめきショップのセレクト版）（出店（予定）など

レポート／あいあいプロジェクトリーダー
鬼塚 淳子



06

小学校デザイン出前授業 「デザインスクールキャラバン09」

11.02

小学校デザイン出前授業は、社会を学ぶ横断的、総合的な学習として、機能・実用性といった目的を表現するデザインを学び、子ども達のデザインマインド（創造的価値）の育成を目的としています。

2009年は、福岡市立南当仁小学校5年生4クラス（120名）を対象に、小学校地域の商店街をモデルに「わたしたちの夢の商店街」をテーマに合同授業を行いました。

事前に建築・環境・店舗・グラフィックの「KIDSデザイナー」が募集され、募集要項にある各デザイン領域説明から児童が希望のデザインを選択します。

各自予習として商店街に調査に行き、構想を練り、授業当日は、体育館に全員が集合。各チーム間で協議を行います。通りや広場のデザインをする環境チームの話聞き、店舗チームは業種の配置を検討し、建築チームはその店舗の屋上緑化を考えます。それに応じてグラフィックチームはポスターのイメージを膨めます。一人ひとりのデザインをし、それを合わせると、ひとつのエリア（通りや公園）ができ上がります。そしてエリアを合体すると商店街ができるという具合です。各自がつくった模型を一つ一つ集合させていく様は、まるで実際にまちができあがっていくようでした。商店街模型完成後、各チームによるデザイン趣旨・留意点などの発表を行い、模型は後日小学校オープンキャンパスにて家族をはじめ地域の方にも公開されました。

子ども達はものづくりを通し、達成感、創造する楽しさ感じ、個の思いが形になり、個の力が集まれば大きなものができることを体験しました。同時に、自分たちのまちの商店街をつくるという身近なテーマを創造し社会を理解します。どのような人が働き、どのような思いでものをつくっているのか、美しい環境を守るためには自分は何をすべきなのか。社会は自分たちの力でつくることなど学びました。

レポート／スクールキャラバンプロジェクトリーダー
中牟田麻弥



活動DATA
開催会場…
福岡市立南当仁小学校
5年生
講師…
（社）日本サイン・デザイン協会、
（社）日本建築家協会、
（社）日本環境設計家協会、
（社）日本ディスプレイ協会
（社）日本グラフィックデザイン協会、

01

デザインインターンシップ2009

大学、専門学校の学生を対象に、デザインの現場を体験するための「デザインインターンシップ」を8月より実施しました。

セミナーは、デザインインターンシップに先立って行なうもので、さまざまなデザイン分野の現場のお話を、第一線で活躍されているデザイナーの方々にお話ししていただきました。

参加者 約450名

○インターンシップ受入れ事務所34社

○インターンシップ申込者51名

○インターンシップ採用者48名(参加費三千円)

○インターンシップ期間 8～9月

アンケート(学生より)

●人は成功よりも失敗を得て学ぶことが多いと言いますが、まさにその通りだと思います。私はこのインターンシップでやってはいけないこと、やらなければならぬことを学びました。正式に社会に出る前にたくさん失敗ができたことはとても良い経験になりました。反省を次の事に活かしていきたいです。(専門学校1年生 女子)

●今回インターンシップで学校でなく実際の現場でデザインを学ぶことができ、デザインに対する姿勢・見方が大きく変わりました。もし可能であればインターンシップの期間を2週間以上にできればより充実したものになるのではないのでしょうか。(大学3年生 女子)

アンケート(企業より)

●インターンシップという制度はとても良いと感じました。もう少し時間があればもっと色々教えられたかなと思いました。またお願いしたいと思います。

●他大学のインターンシップの受入期間が重なったため、事務所で学んだこと以外にも、他の大学の学生と交流や情報交換、今後のつながりができたことが大変良かった、と皆が口をそろえて言っていました。

インターンシッププロジェクトリーダー／大庭 香代子
レポート／岡 真由子



セミナー:05.21
インターンシップ:08～09



活動DATA
開催会場:
福岡市立中央市民センター
ホール
講師:
「Presentation 1」
「インテリア・プロダクトデザインの現場」
高須 学 TAKASUGAKU DESIGN
「Presentation 2」
「グラフィックデザインの現場」
大野 浩之 (有)デザインサン・アイ代表取締役
「Presentation 3」
「建築デザインの現場」
田中 康裕 (株)キャデイスと風建築工房代表取締役
「Presentation 4」
「ビジュアルデザインの現場」
橋田 二次夫 クリエイティブダイレクター
「Presentation 5」
「ファッションデザインの現場」
下城 進二郎 (株)ジッジーノ代表取締役

08

子どもデザイン教室

今年度は九州経済産業局の助成を受け知財関連の子どもを対象としたものづくりセミナーとして「夏休み子どもデザイン教室」を開催しました。

県のデザイン産業賞を受賞された長松康男氏を講師に迎え「紙ヒコキ」をテーマにものづくりの楽しさを学びました。

レポート／子どもデザイン教室プロジェクトリーダー
廣瀬 正人



08.29

活動DATA
開催会場…
九州大学大橋サテライト
講師：長松康男

09

第12回FUKUOKAデザイン界 合同大望年会 2009

12.08

活動DATA
開催会場…
福岡市中央区今泉20・4・28
LAWRENCE&TOPFL
OOR

毎年恒例のFUKUOKAデザイン界大望年会
2009は連年とは場所を変えて開催されま
した。

今年のテーマは「つながり TSUNAGARI」
とし、いろんな人と仕事とデザインをつなげて、
来年へ大きく望もうとの企画でした。約100名
の参加となり例年とは少し違った望年会となり
ました。企画内容は、

- ①絵本を送ろう！
- ②となりの仕事を見てみたい展
- ③デザインチャリティーオークション！
- ④お楽しみ抽選会

など今年も盛り沢山の企画で大いに盛り上がり
ました。参加頂いた皆様から寄付された絵本
は、九州大病院の愛の図書館へ54冊を寄付
しました。また、となりの仕事を見てみたい展
では11社の展示が行われ、新たなビジネス提案
になりました。多くの著名デザイナーの作品
を提供頂いたチャリティーオークションも楽しく
行われ、チャリティは西日本新聞民生事業団
へ寄付を行いました。ご協力頂いた皆様へ深く感
謝致します。

レポート／大望年会プロジェクトリーダー
児島 正明



10

福岡市デザイン啓発 広報事業「地域力の創設」

Vol.1

02.26

第1回セミナー「総合デザインが地域を変える」
デザイン・プロデュースが地域活性化に及ぼす影響を、江副氏がプロデュースされた大分竹田の実例を中心に、竹田市地元キーマン・佐藤氏と実際にデザイン開発を手がけられたデザイナー・前崎氏加えパネルディスカッション形式で進行了しました。大分竹田では総合デザインという考え方の手法を丁寧に伝え、地元当事者に理解してもらったとの事。その事が多くの商品やサービスの具現化と地域ブランドデザインを見据えた継続的な活動につながっていると思えます。デザインが地方の、しかも農業などを中心とした領域で、力を発揮した具体的な事例を数多く紹介していただきました。

定員以上の参加者と活発な質疑応答をみるにつけ、中央主義ではない、地域に即した地元ならではのデザイン活用に対する興味の高さが伺えるよいセミナーになりました。



活動DATA
開催会場：九州大学大橋サテライト1階
講師：第1回
コーディネーター 江副直樹
(プロデューサー)
パネラー 前崎成一
(デザイナー)
佐藤嗣信
(竹田市経済活性化協議会地域ブランド化チームリーダー)

10

福岡市デザイン啓発 広報事業「地域力の創設」

Vol.2

03.16

第2回「デザイン」と「企業づくり」と「街おこし」
地域力の向上が、そこに住む人、訪れる人を豊かにし、企業も潤う。地域とともに発展する企業の代表格としてJ・R九州の唐池社長に、企業経営の立場からデザインの有益性を語っていただきました。数々のデザイン賞に輝く車両デザイン開発を基軸に、企業の心(理念)を適切に伝えるための顔づくり、体づくりがいかに行われてきたのか。ネーミングやデザインそのもの、それがもたらす顧客へのホスピタリティ、結果として得られる企業の魅力向上など。担当されたデザイナーの水戸岡鋭治氏を特別ゲストに迎え、クライアントとデザイナー双方の立場からみた実例を数多くご紹介いただきました。内容の濃さはもちろん、唐池氏の非常に軽快でユーモア溢れる話しぶりに参加者はおおいに満足したのではないのでしょうか。クライアントとデザイナーの理想的な関係もみさせていただきました。



活動DATA
開催会場：福岡市立中央市民センター
ホール
講師：第2回
唐池恒二(九州旅客鉄道株式会社代表取締役社長)
特別ゲスト
水戸岡鋭治(株式会社ドーンデザイン研究所)

11

福岡景観よかところガイドツアー

05.30⇒05.31

博多、天神、百道浜の三つのエリアを巡るガイドツアーです。福岡シテイループバス「ぐりーん」で移動し、各エリアを1日3回デザインリーグ会員やまちづくり活動団体メンバーが、建物、街並み、パブリックアートなど、景観やまちづくり活動について分かりやすく解説しました。合計221名の方々に参加いただきました。

レポート／福岡景観よかところガイドツアープロジェクトリーダー

水野 宏



活動DATA

開催会場…

博多エリア

天神エリア

百道浜エリア

講師…

FUKUOKAデザインリーグ

会員、

We Love天神協議会

博多まちづくり推進協議会

12

耐震適合プレート製作

福岡市では、平成17年の福岡西方沖地震を契機とし、市内に建設される建物の耐震性を高めることを目的として平成20年10月に、「福岡市建築基準法施行条例第6条の2」を施行しました。

そしてその条例に適合する耐震性能に優れた中高層建築物の所有者、設計者に対して表彰を行い、また市民に広く周知し奨励するため、建物に取り付けられる「耐震適合プレート」を発行することとなり、FDLはその名称とサインデザインの選定を福岡市から委託を受け、コンペティションによってFDLの会員から選定しました。

プレート名称「福岡市優良耐震適合プレート」

デザイナー・下条進一郎氏(JGDA)

サイン、プレートデザイン、マニュアル・賞状デザイン

デザイナー・大宝拓雄氏(JGDA)

福岡市優良耐震プレート



レポート／耐震適合プレートプロジェクトリーダー

照井 善明

13

FDLメールマガジン 福岡市デザイン情報メールマガジンの配信

■FDLメールマガジン

FUKUOKAデザインリーグ自主事業や、団体会員の自主事業、大学・専門学校などのイベント、民間のデザイン関係情報、アートギャラリー・展覧会情報などを配信しました。

□発行数 64号(No/779)~No/842)

□購読者数 1046名(77名増)

■福岡市デザイン情報メールマガジン

福岡市からのデザイン関連情報メールマガジン「福岡市デザイン情報」を配信しました。行政など公的機関関係で「デザイン」を幅広くとらえて、情報発信をしました。

□発行数 45号(34号)~78号)

□購読者数 1024名(70名増)

レポート／プロジェクトリーダー

岡真由子

14

釜山国際建築文化展福岡市ブース展示

10.07⇒10.13

活動DATA

開催会場：

韓国

釜山市BEXCO第3展示場

福岡市は姉妹都市釜山市との友好事業の一環として、釜山国際建築文化展・友好姉妹都市ブース展示を昨年から参加しています。他の展示会等にも使い回しが出来るような制作物を考えてほしいとの依頼が福岡市都市景観室・福岡市国際部から、デザインリーグにありました。

早速プロジェクトメンバーを決め福岡市役所と打合せに入り、開催日程の変更や展示場所の変更など、現地とのやり取りに苦労しました。最終的には韓国ソウルのゲウォンデザイン芸術大学の金先生のご好意で、同芸術大学とのコラボレートにて制作展示を行なう事ができました。段ボールによる建築的デザインのブースを作成し、福岡市のよかとこMAP掲載写真をフォト・フレームと大型モニターによる映像展示を行いました。また、インタラゲジョンシステムによって福岡市の建築的な名所を写真にて紹介し、地図上を歩く感覚で名所案内が出来ました。釜山では、福岡市と釜山市との懇親会も開かれ友好事業の架け橋の役割が出来たのではないかと思います。

レポート／プロジェクトリーダー

兒島 正明



15

第5回

アジアデザインビジネスセミナー

11.20

「価値・利益を生み出すブランド戦略」
参加者：29名



活動DATA
開催会場…
九州大学大橋サテライト2階
講師…
林 磐峰(リンパンソン)
国立台湾師範大学美術系教授
定村 俊満
株式会社ジーエータップ代表
取締役社長 / FDL 副理事長

16

ロボスクエアパンフレット制作

10.⇒03.

ロボスクエアの開設は2002年7月、福岡市で開催された『ロボカップ福岡・釜山大会』を機に誕生しました。

館内では約40種類、150体以上のロボットが展示され、年間来場者数は約14万人。海外からの来場者も多く、ロボット工作など体験できる施設として広く利用されています。

このような施設の、英語、中国語、韓国語表記のある公式的なパンフレットの制作委託を受けました。

FDL会員内で広報し、パンフレット制作デザイナーの募集をしました。審査方法は応募のあった4名に制作コンセプトを文章でA4 1枚程度にまとめてもらい、福岡市経済振興局から2名、FDLから3名で構成された選考委員会で選定しました。



活動DATA
決定デザイナー…
石川 博己氏(FADC)
制作物…
A4 6頁 片観音開き
・日本語／英語 併記
縮小版(3種類)
A4 3つ折り
・日本語／英語 併記
・日本語／中国語 併記
・日本語／韓国語 併記
データ納品

17

大川インテリア塾

今年で五年目、そして今年が最後の年となる大川インテリア塾です。デザインリーグは今年ではデザイン論、ユニバーサルデザイン、デザインプロデュースの講座に講師を派遣しました。また大川樟風高校住環境システム科の特別授業に建築家五名を派遣しました。

レポート／大川インテリア塾プロジェクトリーダー
廣瀬 正人



08.08/10.29
11.22/12.12

活動DATA
開催会場…
大川産業会館 天神ビル
会議室 大川樟風高校
講師…
高須 学
後藤 宏
定村 俊満
津川 悠嗣
田中 康裕
照井 善明
廣瀬 正人
水野 宏

18

福岡市職員のための「創造的デザイン都市」づくり戦略講演会、ワークショップ

12.21

活動DATA
開催会場…
福岡市庁舎15階講堂
講師…定村 俊満

平成20年に福岡市の委託で検討を進め、平成21年9月に吉田市長に提言を行った「デザインがまちをパワーアップさせる」創造的デザイン都市」づくり戦略」についてのプレゼンテーションとワークショップを行いました。

会場の福岡市役所15階講堂には庁内各部署から100人を超える職員が参加し、日常業務の中でデザインのあり方や取り組み方、福岡市に必要なデザイン等に関しての熱い意見が活発にかわされました。この成果は参加した職員が各部署に持ち帰り、具体的な事業計画や日頃の業務に反映されることになりました。

レポート／ワークショッププロジェクトリーダー
定村 俊満



19

ホームページの改訂

今年は、大容量の掲載に対応できるよう、今までのデータをベースにして、システムから全般的に新しくしました。

同時にイベントの告知などの情報発信を行いました。

レポート／プロジェクトリーダー

森重 正治

20

九州アジアデザイン連携協議会

連携協議会は産学官民の連携事業を通じ、産業と文化の国際交流の発展に寄与することを目的として運営されています。

21年度は特に急増する留学生対応の課題と、福岡市の都市デザイン戦略の実現についての連携事業が検討されました。

■構成メンバー

□事業連携会員

N P O F U K U O K A デザインリーグ、九州大学知的財産本部、九州大学芸術工学院、九州大学統合新領域学府ユ－ザー感性学専攻

□協力・支援会員

九州経済産業局、福岡県、福岡県産業デザイン協議会、福岡市、社団法人九州経済連合会、福岡商工会議所、日本弁理士会九州支部

□世話役会員

N P O F U K U O K A デザインリーグ、九州大学知的財産本部

レポート／プロジェクトリーダー

定村 俊満

06.15/06.23/8.11/11.12/11.20
2010.2.16

活動DATA

開催会場…

九州大学大橋サテライト他

NPO FUKUOKA デザインリーグ会員名簿

2010・31現在

団体正会員

(社)インテリア産業協会九州支部
(社)日本建築家協会九州支部福岡会(JIA)
(社)日本グラフィックデザイナー協会福岡地区(JAGDA)
(社)日本サインデザイン協会九州地区(SDA)
(社)日本商環境設計家協会九州支部(JCD)
(社)日本ディスプレイデザイン協会九州支部(DDA)
日本デザインコンサルタント協会(JDCA)
福岡アートディレクターズクラブ(FIADC)
福岡インテリアコーディネーター協会(FICA)
(社)日本インテリアデザイナー協会九州事業部(JID)
D+P
麻生建築&デザイン専門学校
九州デザイナー学院
日本デザイナー学院
福岡デザイン専門学校
株式会社ゼラルアサヒ
株式会社ジーエークレアス(キンコース)
株式会社クネット・ジャパン福岡支社
福岡DC株式会社
株式会社環境デザイン機構
福岡県産業デザイン協議会

個人正会員

(50音順)

阿武 寿志	照井 善明
今宮 優子	戸塚 眞理
岩田 憲明	長峰 栄子
内田 正宏	野口 恵庸
顥原 澄子	橋爪 大輔
川崎 泰秀	吹上 剛一
岸本 泰洋	松尾 一声
木下 浩市	松尾 紘出子
黒尾 勉	松丸 順子
兒島 正明	松丸 宗裕
嶋本 和夫	眞子 弘治
正田 美加	馬渡 秀公
築地原 芳紀	水口 敬司
	吉田 寛史

団体賛助会員

株式会社正興電機製作所

博多装工株式会社

福岡県民共済生活協同組合

株式会社イトーキ

本多機工株式会社

九州電力

Anny Group

学生賛助会員

松尾 朱織

児島 理華

役員名簿

理事長

水口 敬司

理事

佐藤 南海男

副理事長

定村 俊満

理事

林 宏治

副理事長

佐藤 俊郎

理事

和田 史穂

専務理事

廣瀬 正人

理事

大庭 香代子

理事

河村 雄三

理事

金子 真三

理事

椋本 敏行

理事

長峰 栄子

理事

森重 正治

理事

水野 宏

理事

金子 洋伸

理事

児島 正明

理事

松野 國一

理事

中牟田 麻弥

理事

梶原 道生

監事

川崎 泰秀

監事

嶋本 和夫

NPO FUKUOKA

デザインリーグ2009を終えて。

FUKUOKAデザインリーグ副理事

定村 俊満

長引く経済不況のなかでありながら、今年度のデザインリーグの活動は大変な活況を見せました。十一の自主事業と十の受託事業が実施され、任意団体の時代も含め、おそらく一番忙しい年だったと思います。

会場を海の中道に移しておこなわれたユニバーサルキャンプには障がい者も含めて58人の参加者が集い、ダイバーシティコミュニケーション等による2日間の貴重な体験をしました。

全クラスが合同で、ひとつのまちをデザインするという新たな試みをおこなったスクールキャラバンは、子どもたちにデザインの役割や楽しさをはっきりと伝えました。

福岡市長へ直接プレゼンテーションをした「デザイン都市戦略」は行政の中で大きな波をおこしそうな様子です。

NPOとしての1年目は法人として、特に経済的な収支は大丈夫だろうかという不安と緊張の中で運営を進めてきました。

そして2年目が過ぎた今、会員の方々の献身的な活動のおかげで、デザインリーグという船は「大きな志」を帆に掲げ、ようやく港から外洋へ出ようとしています。来年はさらに大きな海を目指して航海ができることを祈ります。



デザイン/ディライト

編集/FUKUOKAデザインリーグ

2010年12月発行

NPO FUKUOKA デザインリーグ

福岡市南区大橋1丁目3番27

九州大学大橋サテライト内

電話 092・551・0825

ファックス 092・405・0825

E-mail: fdlinu@f-design.gr.jp

URL: http://www.f-design.gr.jp



FUKUOKA DESIGN LEAGUE



NPO FUKUOKA DESIGN LEAGUE

head office : 4-9-1 Shiobaru Minami-ku Fukuoka 815-8540 JAPAN TEL : +81-92-553-4654 FAX : +81-92-553-4654